

令和4（2022）年度 長岡大学シラバス

授業科目名 科目コード	社会調査法(Social Research Method) 2036033-081					担当教員	石川 英樹 (イシカワ ヒデキ)		
科目区分	専門科目	必修・ 選択区分	選択	単位 数	2	配当年次	3年次	開講期	前期
科目特性	知識定着・確認型 AL/協同学修型 AL/資格対応科目								

① 授業のねらい・概要
社会調査に関する実践的な知識を養い、調査を行うことによる社会現象が現状把握と問題点を考え、データ分析を習得することを目的とする。社会調査の企画・設計ができるようになることを目指す。社会調査とは何か、その意義・手法、具体的な調査票の作成、集計、データ解析の基本を学修する。社会福祉主事任用資格に対応した科目である。
② ディプロマ・ポリシーとの関連
職業人として通用する能力/専門的知識・技能を活用する能力/情報収集・分析力を養う。
③ 授業の進め方・指示事項
配布資料に基づき、追加的事項を補足しながら授業を進める。小レポートや小テストを実施して、フィードバックを行う。
④ 関連科目・履修しておくべき科目
「コンピュータリテラシー1」「コンピュータリテラシー2」「表計算ソフト利用技術」「プレゼンテーションソフト利用技術」「社会学」
⑤ 評価Aに対応する具体的な学習到達目標の目安
(i) 社会調査の意義・概要を理解し説明できる。 (ii) アンケート調査等の社会調査の方法を理解し説明できる。 (iii) アンケート調査を実施できる。
⑥ テキスト（教科書）
テキストは使用しない。授業時間中に資料を配布する。
⑦ 参考図書・指定図書
安藤明之(2021)『初めてでもできる社会調査・アンケート調査とデータ解析[第3版]』日本評論社

⑧ ルーブリック					
評価項目	評価基準				
	S 到達目標を越えたレベルを達成している	A 到達目標を達成している	B 到達目標達成にはやや努力を要する	C 到達目標達成には努力を要する	D 到達目標達成には相当の努力を要する
(i) 社会調査の意義・概要	社会調査の意義・概要を、資料等に頼らず説明でき、授業内容を越えた学修成果を示している	社会調査の意義・概要を、資料等に頼らず説明できる	社会調査の意義・概要を、資料等を参照することで説明できる	社会調査の意義・概要を、資料等を参照し、さらに教員等の助言を受けて説明できる	社会調査の意義・概要を、資料等を参照し、さらに教員等の助言を受けても説明できない
(ii) 社会調査の方法	社会調査の方法を、資料等に頼らず説明でき、授業内容を越えた学修成果を示している	社会調査の方法を、資料等に頼らず説明できる	社会調査の方法を、資料等を参照することで説明できる	社会調査の方法を、資料等を参照し、さらに教員等の助言を受けることで説明できる	社会調査の方法を、資料等を参照し、さらに教員等の助言を受けても説明できない
(iii) アンケート調査の実施	調査課題に対して、アンケート調査を実施し、分析結果をまとめ、授業内容を越えた学修成果を示している	調査課題に対して、アンケート調査を実施し、分析結果をまとめることができる	調査課題に対して、アンケート調査を実施し、教員の改善指示に従って分析結果をまとめることができる	調査課題に対して、アンケート調査を実施し、教員の改善指示に従い、さらに直接の教員の助言を受けることで、分析結果をまとめることができる	調査課題に対して、アンケート調査を実施し、教員の改善指示に従い、さらに直接の教員の助言を受けても、分析結果をまとめることができない

⑨ 学習の到達目標（評価項目）とその評価の方法、フィードバックの方法								
学習到達目標（評価項目）	試験	小テスト	課題	レポート	発表・実技	授業への参加・意欲	その他	合計
総合評価割合	40%	20%	20%	20%				100%
(i) 社会調査の意義・概要	20%	10%	10%					40%
(ii) 社会調査の方法	20%	10%	10%					40%
(iii) アンケート調査の実施				20%				20%
フィードバックの方法	小テスト、レポートの評価はフィードバックする。							

⑩ 担当教員からのメッセージ（昨年度授業アンケートを踏まえての気づき等）
演習的な内容も含んで、卒業後のキャリアで強みにつながる具体的な知識・技術の習得に寄与する授業を進めたい。積み上げていく部分が多い。

⑪ 授業計画と学習課題			
回数	授業の内容	授業外の学習課題と時間（分） （※特別な持参物）	
1	社会調査とは	社会調査の実施の必要性や対象者を理解	60分
2	社会調査の種類	配布資料で社会調査の種類を理解・振り返り	90分
3	社会調査の技法	配布資料で社会調査の方法を理解・振り返り	90分
4	量的調査方法	配布資料でアンケート調査方法を理解・振り返り	90分
5	質的調査方法	配布資料で面接調査・参与観察などを理解・振り返り	90分
6	調査の企画	配布資料でアンケート調査の種類を理解・振り返り、調査内容について検討	90分
7	調査の手順(1)～面接調査・理解留め置き調査	配布資料で面接調査・理解留め置き調査を理解・振り返り	90分
8	調査の手順(2)～インターネット調査	配布資料でインターネット調査を理解・振り返り、その事例を調べる	90分
9	調査における倫理と個人情報 保護	配布資料で個人情報保護を理解・振り返り	90分
10	サンプリングの方法	配布資料でサンプリングの方法を振り返り、サンプリングの試行	90分
11	調査票の作成(1)～調査項目の設定	アンケート項目を設定について検討する	90分
12	調査票の作成(2)～設問内容の検討	質問量や回答タイプの設定を検討する	90分
13	データの整理(1) ～単純集計とクロス集計	配布資料で単純集計とクロス集計を理解・振り返り、その試行	90分
14	データの整理(2)	配布資料で多変量解析を理解、振り返り	90分
15	まとめ	配布資料で社会調査データの活用方法を理解・振り返り	90分

⑫ アクティブラーニングについて
知識定着・確認型 AL を採用する。小レポートの内容をもとに、各自が発表してもらい、そのレポートの評価・考察を行い、学修内容をフィードバックする。小テストを行い知識の定着を図る。

※以下は該当者のみ記載する。

⑬ 実務経験のある教員による授業科目
実務経験の概要
平成 4 (1992) 年 6 月～平成 16 (2004) 年 3 月に(財)国民経済研究協会に在籍し、企業環境研究センター、経済産業研究部の研究員として、官公庁等からの委託調査や自主調査を数多く手がけ、アンケートや統計調査の報告書作成や発表に取り組んだ。
実務経験と授業科目との関連性
社会調査に関する数多くの実務経験を通じて培ってきた知識・技術等を最大限に活用して、アンケート調査等の手法を指導して、履修生による社会調査法の学修に貢献したい。